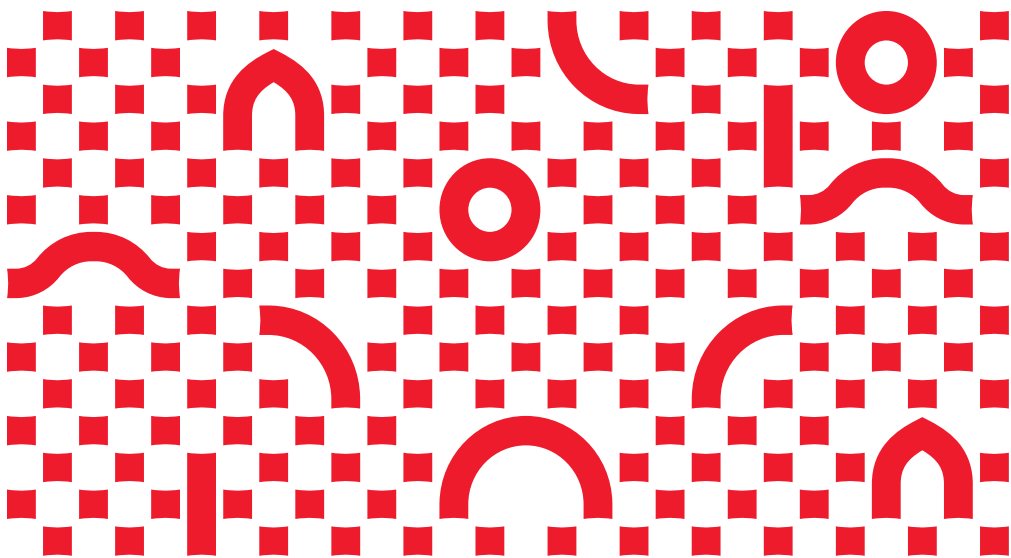




京 都 モ ダ ン 建 築 祭

Kyoto Modern Architecture Festival

2025

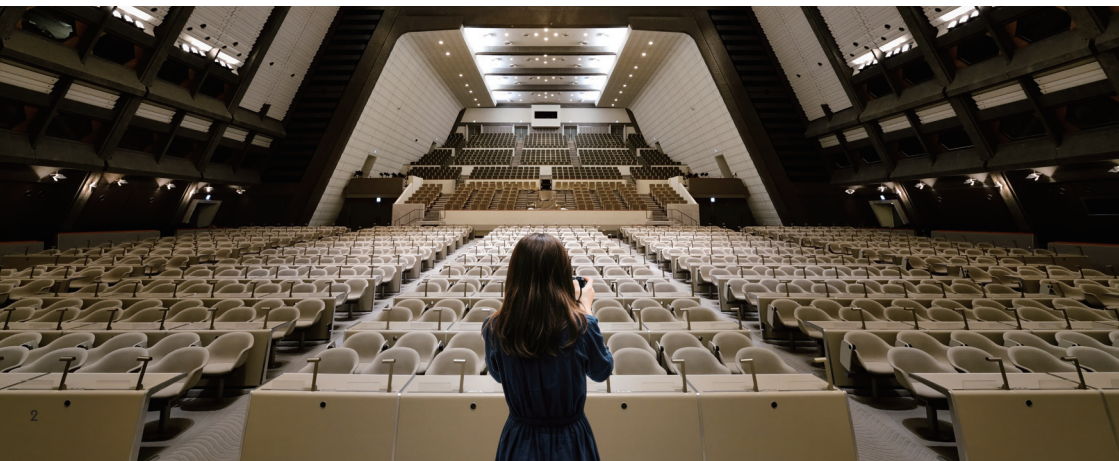
本を立ち読みするように建築を味わう——
それが「京都モダン建築祭」を楽しむ秘訣です。街は大きな本屋であり図書館。
建築は棚に並ぶ一冊。装丁を眺めるように外観を見上げ、
頁をめくるように扉をくぐれば、時代の面影や創造の息吹を感じることができます。
街を歩けば、建築の意匠や素材にときめき、建築主のこだわりやつくり手の技に目をとめ、
建築家の思想や時代の空気にも触れることができる。
名作も無名も、耳を澄ませば等しく語りかけてきます。
この9日間は、その“声”に出会う特別な時間。
建築公開やツアー、レクチャーなど多彩な企画があなたの好奇心を導きます。

今年は参加建築が過去最多の129件に拡大し、
北山・松ヶ崎、吉田・北白川エリアの加わりや
夜間公開、琵琶湖疏水の国宝・重要文化財記念企画なども実施。
さらに文化庁主催の建築文化振興イベントとの協働や、
29歳以下を対象とした「U29パス」の継続によって、次世代への裾野も広がります。
気ままに歩けば歴史を学び、ものづくりへの敬意が芽生え、いつのまにか足腰も鍛えられる。
建築祭は、アタマとカラダに効く特効薬なのです。

「古都」のイメージで世界を惹きつけてきた京都。
寺社や庭園のみならず、明治以降のモダン建築が数多く息づいています。
古建築から格式ある建築、そして現代建築まで、“ほんまもん”が濃密に重なる都市。
京都はまさにその歩みを回遊できる「生きた建築博物館」なのです。
本ガイドブックを片手に、お気に入りの一冊を探す気分で京都へ。
川と山に抱かれた街で、あなたの“推し建築”に出会えますように。
さあ、今、扉をひらき——建築に恋する9日間へ。

前田尚武

京都モダン建築祭実行委員
京都美術工芸大学特任教授



建築祭の楽しみ方

📖 パスポート公開

週末4日間限定、
年に一度の一斉公開。

通常は非公開の建築やスペースを、パスポートひとつで自由に見学できる特別な期間です。申込不要、原則自由見学。無料オーディオガイドあり。ルートも楽しみ方もあなた次第です。
※一部オンライン整理券が必要です。

[前期] 11月1日(土)～2日(日) [後期] 11月9日(土)～10日(日) **P10**

🗺️ ガイドツアー

聞いて、歩いて、感じる、
一期一会。

さまざまなガイドが案内する特別なツアーを毎日実施。オーナーや専門家、地域の住民、学生など、多様な人と建築に出会う機会をつくります。ガイドツアーでしか行けない建築や、開店前の貸切見学なども。原則団体行動。要申込、有料。 **11月1日(土)～9日(日) P24**

🎫 イベント・特典

建築との出会いは
いろいろ。

P4 特別イベント | **P28** 各種イベント・パスポート特典

インフォメーションセンター 期間限定ショップ併設

前期 11月2日(土)～3日(日) 10:00～17:00

[中京] QUESTION

中京区下丸屋町390-2
地下鉄「京都市役所前」、京阪「三条」



[京都駅・七条]

旧村井銀行七条支店
下京区七条堀川東入る北側市バス「七条堀川」「七条西洞院」、地下鉄「京都駅」



後期 11月8日(土)～9日(日) 10:00～17:00

[東山] 京都ツーリストラウンジ祇園

京都市東山区小松町4-557-4 パレ祇園1F
市バス「四条京阪」「四条河原町」
京阪「祇園四条」、阪急「京都河原町」



[岡崎] 京都市京セラ美術館 貴賓室

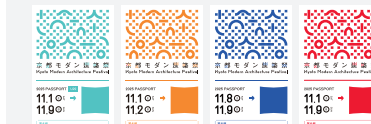
左京区岡崎円勝寺町124
地下鉄「東山」、市バス「岡崎公園美術館・平安神宮前」「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」「東山仁王門」



建築祭パスポート

券種	対象	価格(税込)
U29パスポート[通期]	29歳以下	¥2,000
前期パス(11/1～2対象) 後期パス(11/8～9対象)	一般	¥3,000
パスポート[通期] (全日程11/1～9対象)		¥5,000

オンライン (teket)、セブン-イレブン店頭でご購入の方は、最初に見学するパスポート公開建築の受付で、下の実券に引き換えてご利用ください。



オンライン整理券について

パスポート公開建築のうち、一部の建築で「オンライン整理券」を発行します。公開当日の朝からウェブ上で受付を開始。先着順で配布し、その日の予定枚数がなくなったら終了となります。取得にはメールアドレスが必要となります。対象建築はP10～22のパスポート公開建築紹介および公式サイトをご覧ください。



詳細はぜひ
こちら

🗣️ 楽しみ深める多彩なスペシャル企画

建築の楽しみ方をもっと多様に、自由に、そして誰もが気軽に体験できるように。

2025年の京都モダン建築祭で楽しめるスペシャル企画をご紹介します。著名人によるトークライブ、地元企業とのコラボ企画から、記憶と記録をつなぐ展示、次世代を育むラーニングプログラムまで、建築の新しい魅力に出会える、一期一会の体験があなたを待っています。

詳細はこちら



【藤森照信&常盤貴子】

京都モダン建築祭×路上観察学会スペシャルライブ

路上観察学会39周年を記念した特別トークライブ。藤森照信さん、常盤貴子さん、鈴木康広さんが登壇し、まちを歩く眼差しや日常建築の楽しみ方を語ります。二部構成で建築探偵の視点や路上観察の魅力を体験できる貴重なイベントです。

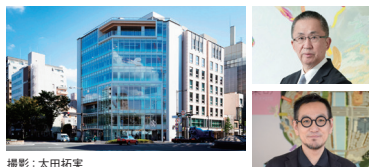


日時 —— 11月1日(土) 17:30 - 19:00
会場 —— 国立京都国際会館 メインホール
登壇者 —— 藤森照信 常盤貴子 鈴木康広
本橋仁 笠原一人
参加費 —— 一般 2,000円 / パスポート所持者 無料
要申込
主催 —— 京都モダン建築祭実行委員会
路上観察学会
特別協力 —— 公益財団法人国立京都国際会館
協力 —— 文化庁、京都美術工芸大学
助成 —— 公益財団法人ボー美術振興財団

QUESTION(コミュニティ・バンク京信) 特別イベント

コミュニティ・バンク京信 有志プロジェクトチームによるスペシャル企画。「QUESTION(クエスチョン)」を建築としてまると楽しみ、コミュニティ・バンクの考え方に触れる一日。建築×まちの未来をテーマに専門家が対話する特別セッションから、こどもワークショップまで。パネル展は申込不要・パスポート不要でどなたでもご覧いただけます。

トークセッション「コミュニティ・バンク論をめぐる建築思想—メタボリズム—と地域の未来を語ろう!」

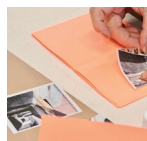


日時 —— 11月8日(土) 14:30 - 16:30
登壇者 —— 榊田隆之 前田尚武
門脇宏治 新田廉 前原優作 他
参加費 —— パスポート所持者 無料 / 要申込



パネル展「コミュニティ・バンクの空間をめぐる」

日時 —— 11月8日(土) 10:00 - 17:00
参加費 —— 無料 / 申込不要



子どもワークショップ「じぶんだけのオリジナル建築写真集をつくろう!」

日時 —— 11月8日(土) 12:00 - 14:30
講師 —— 川勝真一(けんちくセンターCoAK)
参加費 —— 3,500円 / 要申込

琵琶湖疏水 国宝・重要文化財指定記念講演会

琵琶湖疏水の国宝・重要文化財指定を記念して、京都市上下水道局とのコラボレーションにより、琵琶湖疏水記念館の学芸員による記念講演会を開催します。



日時 —— 11月9日(日) 14:00 - 15:00
会場 —— 琵琶湖疏水記念館 2Fホール
登壇者 —— 琵琶湖疏水記念館学芸員
参加費 —— 無料(要パスポート) / 要申込

サヌキナオヤ×京都新聞「2026 KYOTO SEASONS」展

京都新聞2026年カレンダーに描き下ろした京都・滋賀のモダン建築イラストを展示します。展示期間中は、京都新聞2026年カレンダーやサヌキさんのオリジナルグッズを販売予定。



会期 —— 10月17日(金) - 2026年1月12日(月・祝) 予定
時間 —— 8:30 - 21:00
(SHARE LOUNGE 営業時間に準じます)
会場 —— 京都高島屋 S.C. T8 6F
『京都 高島屋店 SHARE LOUNGE』
主催 —— 京都 高島屋店、京都新聞
入場 —— 無料

親子で語る対話型建築鑑賞

建築の見方や興味を引き出し、対話を通して建築そのものへの理解を深めていくラーニングプログラム。今年は、国立京都国際会館を舞台に実施します。



日時 —— 11月1日(土) 13:30 - 15:00
会場 —— 国立京都国際会館
ガイド —— 倉方俊輔
対象 —— 小中学生とその保護者(定員10組、要申込)
参加費 —— 1組 3,000円

京都「エコー遺産」アカペラライブ!

トンネルや銭湯、吹き抜け空間など音の響きがユニークな建物や空間でアカペラの歌唱を披露するプロジェクト「エコー遺産アカペラライブ!」が、京都モダン建築祭に初登場。



日時 —— 11月8日(土) 19:00 - 19:30
会場 —— 京都市武道センター(旧武徳殿)
参加費 —— 無料(要パスポート) / 申込不要
主催 —— 近畿大学総合社会学部・村松秀ゼミ

トークでつなぐ! 新・旧 毎日新聞京都ビルのこれから

竣工100周年へ向けたプロジェクトが進行中の旧社屋「1928ビル」。新・旧毎日新聞京都ビルをつなぎ、これからを考えます



日時 —— 11月9日(日) 10:10 - 11:10(開場10:00)
会場 —— 毎日新聞京都ビル7階ホール
登壇者 —— 高尚録(同時代ギャラリー オーナー)
清山陽平・成原隆剛(京都大学)
参加費 —— 無料(要パスポート) / 申込不要
主催 —— 「1928ビルの百年」

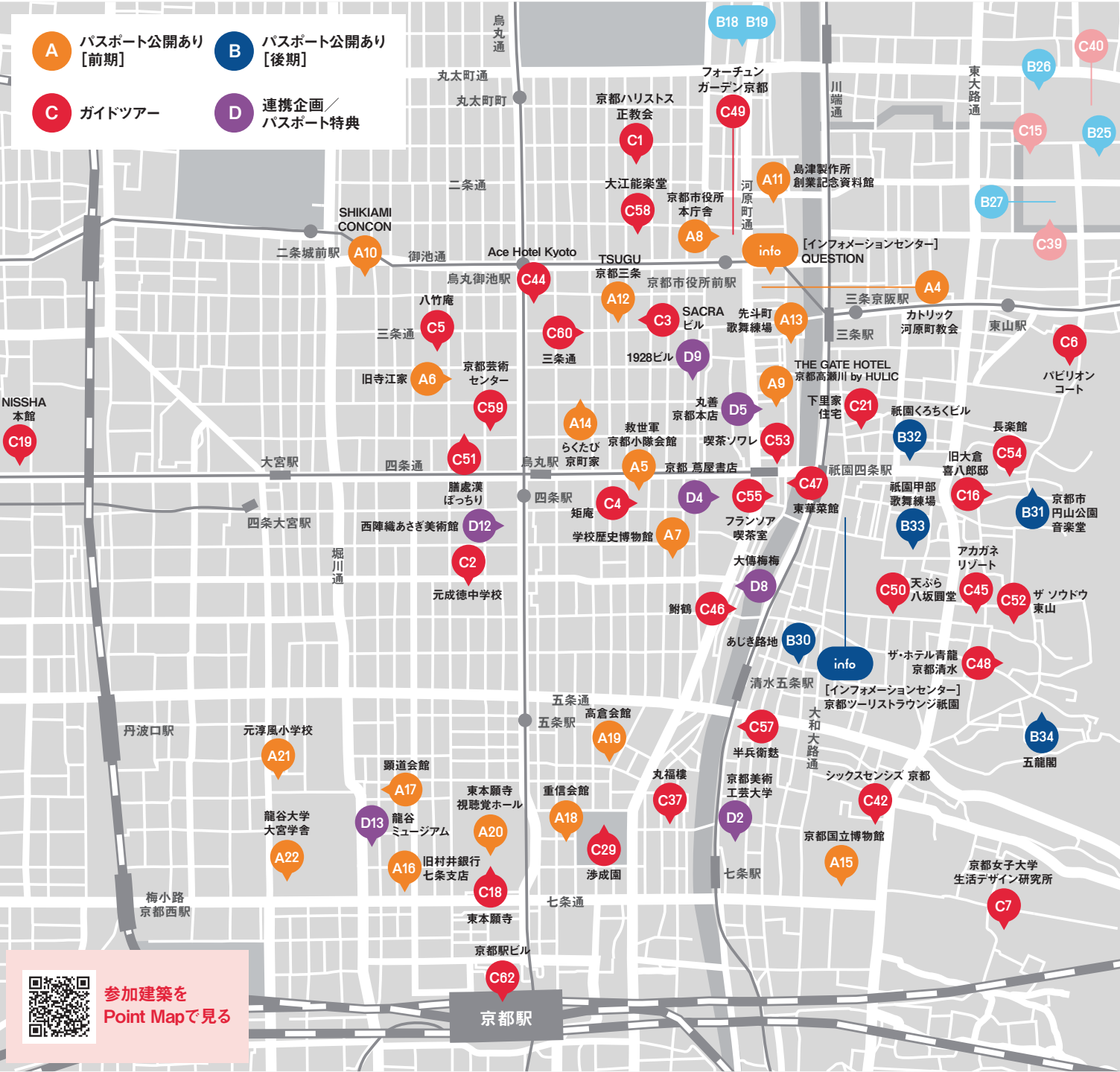
【お願いと注意事項】

京都モダン建築祭は、普段は一般公開されていない建築や場所等を、所有者・関係者の善意とご厚意により特別に公開していただくことで成立する取り組みです。来以降も継続して開催していくためにも、また、心ある所有者・関係者の皆さんに私達の感謝と敬意を伝えるためにも、マナーを守って、人と建築への礼節ある態度でお楽しみいただきますよう、ご協力をお願いします。

●建物への直接のお問合せは先方のご迷惑になりますので、おやめください。●スタッフ、建築関係者の指示に従ってお楽しみください。●ガイドツアーは、開始時間の約15分前から受付を開始します。開始時間になると、全員が揃っていないくても移動をはじめる場合があります。●写真撮影は、他の参加者の迷惑とならないよう、譲り合って撮影ください。長時間の撮影や、モデル撮影、一脚・三脚等を使用した撮影など、建築や他の参加者の迷惑となる行為はおやめください。●イベント中にスタッフが記録撮影をすることがあります。●混雑等により状況に応じて、入場制限、早期受付終了、また整理券を発行する場合があります。●バリアフリーに対応していない建築も多くあります。どうぞご理解ください。●9月時点の情報です。●プログラムの内容は予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

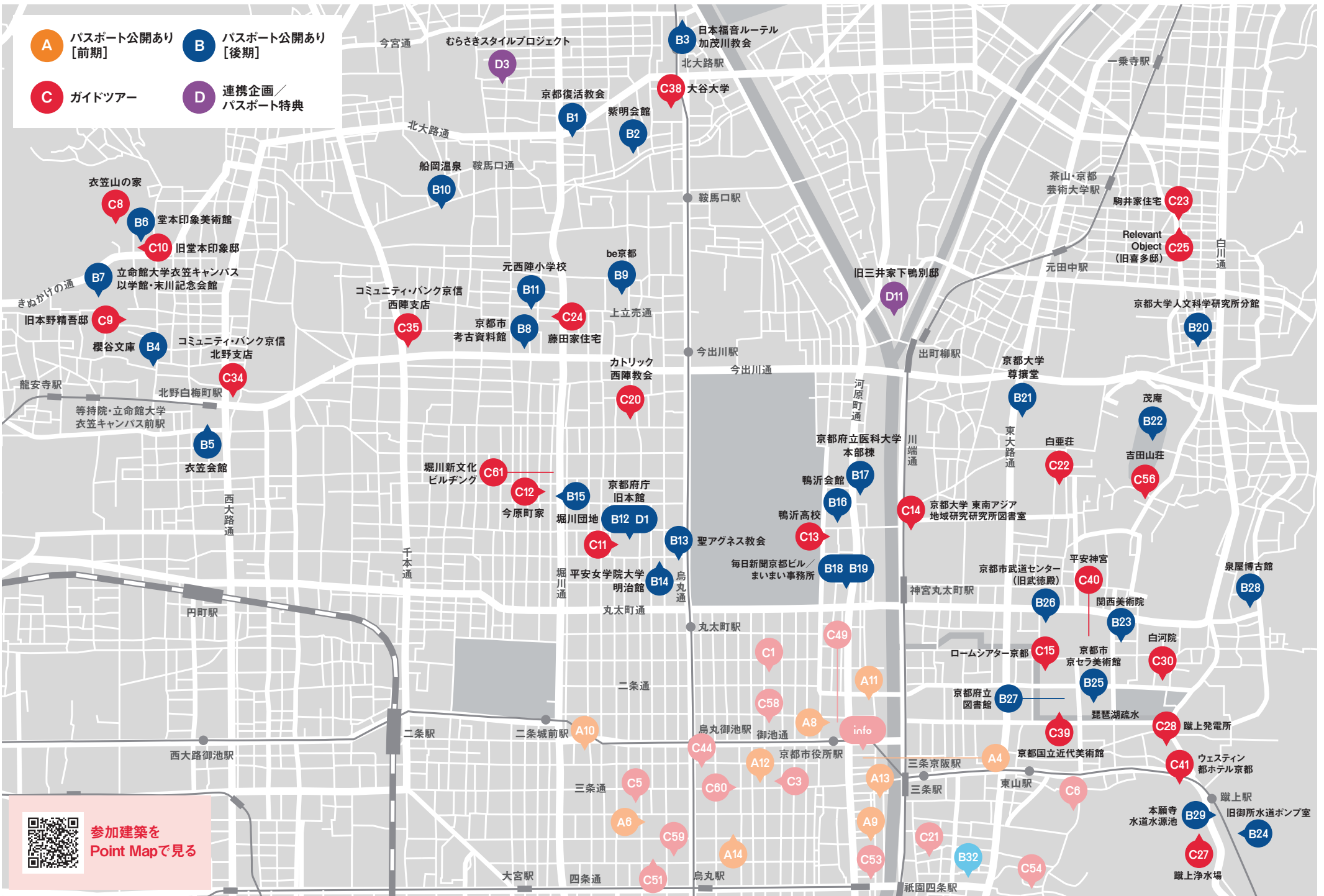
イベントに関わる最新情報は、
SNSと公式サイトで発信します。 @kenchikusai

参加建築MAP [中京／東山／河原町・五条／京都駅・七条／その他]



参加建築を
Point Mapで見る

参加建築MAP





エリア	No.	建築・施設名／プログラム名	11.1 (土)		11.2 (日)	
			10:00-17:00	18:00-20:00	10:00-17:00	13:00-17:00
北山・松ヶ崎	A1	京都工芸繊維大学				
	A2	京都コンサートホール				
	A3	日本キリスト教団京北教会				
中京	A4	カトリック河原町教会				
	A5	救世軍京都小隊会館				
	A6	旧寺江家住宅店舗及び主屋				
	A7	京都市学校歴史博物館 (元開智小学校)				
	A8	京都市役所本庁舎				
	A9	THE GATE HOTEL 京都高瀬川 by HULIC (元立誠小学校)				
	A10	SHIKIAMI CONCON				
	A11	島津製作所 創業記念資料館				
	A12	TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS (旧日本生命京都三条ビル)				
	A13	先斗町歌舞練場				
	A14	らくたび京町家 (旧村西家住宅)				
	A15	京都国立博物館 明治古都館				
東山	A16	旧村井銀行七条支店				
	A17	顕道会館				
	A18	重信会館				
	A19	高倉会館				
	A20	東本願寺視聴覚ホール				
	A21	元淳風小学校				
	A22	龍谷大学大宮学舎				
	A22	国立京都国際会館				

※公開日時、公開内容は変更になる場合があります

見学には
オンライン整理券
が必要です

写真撮影・WEB投稿



北山・松ヶ崎

京都の北端に位置し、山裾の自然環境と都市機能が融合するエリア。北山通りを中心に商業開発が進み、新しい文化的機能も形成。松ヶ崎界隈は近代以降の住宅開発や大学移転などにより都市の性格が強化されてきました。

A2



京都コンサートホール



建物には京都の古代的な都市軸を取り入れつつ、京都初の音楽専門ホールとしての機能を融合。世界的建築家・磯崎新が趣向を凝らした名作です。

● 11/1 (土) 18:00-20:00

[公開箇所] 1階、螺旋スロープ、大ホール [竣工] 1995 (平成7) 年 [設計] 磯崎新アトリエ [施工] 清水建設、東急建設、要建設、岡野組

中京

政治・文化・商業の中心が集積する都市の心臓部。そのため非常に多様な建築物や用途が広がっています。洋風建築はもとより、近代化する京町家の変遷、町衆が支えた番組小学校など、多様な建築を通して人と町の歴史が立ち現れます。

A5



救世軍京都小隊会館



W・M・ヴォーリズが設計したモダンイングリッシュ様式の教会。木造二階建てながら、石造風の外観とゴシック調のファサードを持ち、京都の街区に静かに佇んでいます。

● 11/1 (土) 10:00-17:00 ● 11/2 (日) 10:00-17:00

[公開箇所] 礼拝堂 [竣工] 1936 (昭和11) 年

A1



京都工芸繊維大学



モダニズムの先駆者本野精吾が設計した3号館。同年竣工の門衛所。南禅寺界隈の何有荘より移築された武田五一の和楽庵 (旧稲畑勝太郎邸洋館)。3棟を一挙公開。

● 11/1 (土) 10:00-17:00 ● 11/2 (日) 10:00-17:00

[公開箇所] 和楽庵、3号館1階会議室 (記念室) [竣工] [和楽庵] 1916 (大正5) 年 [3号館] 1930 (昭和5) 年 [設計] [和楽庵] 橋本建築造園設計 [3号館] 本野精吾

A3



日本キリスト教団京北教会



正面に小塔を備え、半円アーチの窓が並ぶ中世ロマネスク様式の教会。内部は白い天井が斜めに貼られ、上昇感を持ちつつプロテスタントらしい佇まいとなっています。

● 11/1 (土) 10:00-17:00 ● 11/2 (日) 13:00-17:00

[公開箇所] 礼拝堂 [竣工] 1941 (昭和16) 年 [設計] 新井建築工務所 [施工] 新井建築工務所

A4



カトリック河原町教会



下から反り上がる上昇感のある天井が特徴的な、モダンな折りの空間です。白く明るい空間に両サイドから水平に光が差し込み、戦後の民主的な空気を反映しています。

● 11/1 (土) 10:00-17:00

[公開箇所] 大聖堂、殉教の間、都の聖母小聖堂 [竣工] 1967 (昭和42) 年 [設計] カール・フロイラー、富家宏泰 (富家建築事務所) [施工] 大林組

A6



旧寺江家住宅店舗及び主屋



外から一見すると洋風ですが、奥には和風の住居を備えた表屋造の京町家。内部は中廊下のある近代ならではの構造。洋風化したモダン町家を体感してください。

● 11/1 (土) 10:00-17:00 ● 11/2 (日) 10:00-17:00

[公開箇所] 主屋、通り庭 [竣工] [主屋] 1935 (昭和10) 年 [離れ] 1935 (昭和10) 年 [設計] 橋本嘉三郎 (橋本工務店)

A7



京都市学校歴史博物館 (元開智小学校)



元開智小学校の校舎棟が、近代京都の教育史を伝えるミュージアムに。今も残る昭和初期のモダンな意匠やモザイクタイル装飾、元成徳小学校の車寄せなど見どころ満載です。

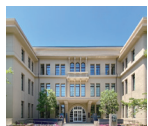
● 11/1(土) 10:00-16:00 ● 11/2(日) 10:00-16:00

【公開箇所】講堂 【竣工】講堂棟 1936(昭和11)年【校舎棟】1938(昭和13)年【増築棟】1956(昭和31)年【正門】1901(明治34)年【石塀】1918(大正7)年【車寄せ】1875(明治8)年※移築

A9



THE GATE HOTEL 京都高瀬川 by HULIC (元立誠小学校)



旧校舎の一部を保存・改修した鉄筋コンクリート造の建物は、正面に半円アーチの縦長窓が並ぶロマネスク風。子ども達が道徳や礼儀作法を学んだ元自彊室が特別公開されます。

● 11/1(土) 11:00-17:00 ● 11/2(日) 11:00-17:00

【公開箇所】Retreat Room(元自彊室) 【竣工】旧校舎建物 1928(昭和3)年【設計】竣工時：京都市営繕課／改修時：竹中工務店

A11



島津製作所 創業記念資料館



島津製作所の150年の歴史と技術の変遷を創業の地で展示。この建物は創業者の島津源蔵が本店兼住居としていたもの。通常閉館日の土日に特別公開。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

※最終入館16:00 ※創業者居室立入は要オンライン整理券
【公開箇所】展示室(通常公開)、創業者居室(通常立入不可、雨天時立入不可)【竣工】南棟 1888(明治21)年【北棟】1894(明治27)年

A13



先斗町歌舞練場



装飾陶板やタイルを用いたなまこ壁のような外観が印象的。水平線を強調した壁面や蹴上部分のレリーフタイルなど、見所満載。劇場建築の名手・木村得三郎による花街建築です。

● 11/2(日) 10:30-15:30

【公開箇所】1階ロビー・劇場客席、2階ロビー・休憩室 【竣工】1927(昭和2)年【設計】顧問：武田五一、設計：木村得三郎【施工】大林組

A8



京都市役所本庁舎



バロック、ロマネスク、イスラムなど、世界各地の多様な様式を融合した昭和初期ならではの堂々たる庁舎建築。※11/1に和室の解説付き見学会あり(要オンライン整理券)

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

【公開箇所】正庁の間、市会議場、市会オープンスペース 【竣工】1927-1931年【改修】2021年【設計】竣工時：顧問：武田五一、設計：中野進一(京都市営繕課)／改修時：日建設計

A10



SHIKIAMI CONCON



気鋭の建築家・魚谷繁礼氏のコンテナ町家を特別公開。長屋とコンテナが生み出す立体的な路地空間。現代の新たな京都のコミュニティを生み出す建築を体感してください。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

【公開箇所】1階、2階、長屋の共用部 【竣工】2019(令和元)年【設計】魚谷繁礼建築研究所

A12



TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS (旧日本生命京都三条ビル)



大正時代に生命保険会社のビルとして建てられ、現在はホテルとして活用されています。特徴的な角地にそびえる青銅製の尖塔を、窓から間近に見ることができます。

● 11/1(土) 11:00-14:00 ● 11/2(日) 11:00-14:00

【公開箇所】4階シェアキッチン・ラウンジ 【竣工】1914(大正3)年【改修】2019(平成31/令和元)年【設計】竣工時：辰野・片岡建築事務所

A14



らくたび京町家 (旧村西家住宅)



伝統的な大塀造りの外観ながら、玄関を入ると洋風の応接間、2階にも幾何学模様を配したアールデコの洋室。京町家が近代化していく様子が随所に見てとれる大型京町家です。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

【公開箇所】1階座敷・茶室・応接、2階座敷・洋間 【竣工】1932(昭和7)年

東山

東山の山裾に広がる神社仏閣群が特徴。中世から景勝地として名所の連なりが形成され、近世には別荘地として発展しました。近代に入ってから観光地として、また住宅地として発達し、望楼や眺望を活かした建築も多いのも特徴です。

京都駅・七条

平安京の時代から南の玄関口としての歴史的な役割を継承するエリア。近世以降は本願寺寺内町として栄え、明治以降は鉄道開業に伴う都市拡大で公共建築や大型商業施設の建設が進みました。現在も再開発が続く活気あるエリアです。

A17



頭道会館



鉄筋コンクリート建築の先駆者・増田清の作品として全国的にも非常に貴重。3連アーチの外観は、繊細な装飾の瀟洒な佇まい。一方内部には力強い大空間が広がります。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

【公開箇所】1階頭道講堂、2階仏間 【竣工】1923(大正12)年【設計】増田清【施工】伊藤組

文化庁主催 LinkArchiScope —建築ツーリズムをつなぐ—

近年、全国各地で「建築祭」が開催され、地域の文化資源を再発見する新たなムーブメントとして注目されています。建築祭展・アート展・トークイベントを通じて、建築祭が持つ魅力と意義を広く発信し、その輪をさらに広げていくことを目指し、文化庁が京都市内複数会場で開催するイベントです。

【会期】2025年10月18日(土) - 11月9日(日)

【主催】文化庁

【共催】京都モダン建築祭実行委員会

【協力】京都府、京都市



A15



京都国立博物館 明治古都館



赤坂離宮などを手がけた宮廷建築家・片山東熊の名作。17世紀ヨーロッパの華麗なバロック様式を写しながらも、日本的な抒情性や繊細な感覚が見事に融合されています。

● 11/2(日) 18:00-20:00

【公開箇所】玄関ホール、中央ホール 【竣工】1895(明治28)年【設計】片山東熊【施工】宮内省内匠寮

A16



旧村井銀行七条支店



ギリシャ神殿を思わせるデザインが印象的な煉瓦造2階建ての建物。ドリス式の太い円柱や上部の梁が重厚さを演出。内部の金庫室や階段などにオリジナルの意匠が残ります。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

【公開箇所】1階、2階、旧金庫室 【竣工】1914(大正3)年【設計】吉武長一【施工】清水組(現・清水建設)

A18



重信会館



ツタに覆われた外観に、印象的な窓飾り、階段の意匠。西洋と東洋が融合したエキゾチックな内部もみどころ。昭和初期の建築らしいアールデコの特徴を堪能してください。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00

【公開箇所】1階 【竣工】1930(昭和5)年【設計】竹内建築事務所(竹内緑)【施工】竹中工務店

- 建築祭展 [10/18-11/9]
立誠自治会館(立誠ガーデン ヒューリック京都 1F)
- アート展 [10/18-11/9]
重信会館、京都府立陶板名画の庭
- トークイベント [11/1]
※要事前申込
東本願寺視聴覚ホール(新参拝接待所)

【登壇者】田中卓志(アンガールズ)、以倉敬之、松尾誠司(大丸ヴィア)、武井雅子(葉山加地邸)、前田尚武



A19



高倉会館



なだらかで大きな寄棟屋根。江戸時代より東本願寺の高倉学寮として営まれ、幕末に蛤御門の変で焼失。明治期に再建され、真宗大学の講堂として活用されていました。

● 11/2(日) 10:00-16:00

【公開箇所】外観のみ(敷地内) 【竣工】1883(明治16)年【改修】1922(大正11)年【設計】不詳【施工】不詳

A21



元淳風小学校



昭和初期に流行したスパニッシュ様式の校舎建築で、美しいアーチ窓が印象的。理科室、音楽室、放送室。当時の小学校の雰囲気がある、見どころたっぷりの建築です。

● 11/1(土) 10:00-17:00 ● 11/2(日) 10:00-17:00
※最終入館16:30

【公開箇所】校舎内廊下、元音楽室、元放送室、元生活科ルーム、元理科室 【竣工】1931(昭和6)年【設計】京都市営繕課

A20

東本願寺
視聴覚ホール

ポストモダンの旗手、建築家・高松伸の秘められた名作。上部でサーベルのよう光を放つ金属装飾やトップライト。コンクリートの神殿を思わせる存在感に圧倒されます。

● 11/1(土) 10:00-16:00 ● 11/2(日) 10:00-16:00

【公開箇所】ホール(内部)
※法話や行事で使用中は内部不可 【竣工】1998(平成10)年【設計】設計監修：高松伸【施工】鹿島建設

A22



龍谷大学大宮学舎



指折り古い校舎群が残る貴重なキャンパス。本館、北翼、南翼、正門、旧守衛所と、実に5棟が、明治初期の洋風建築の代表例として国の重要文化財に指定されています。

● 11/2(日) 10:00-17:00 ※最終入館16:30

【公開箇所】本館、南翼及び北翼の一部、旧守衛所、渡り廊下、正門 【竣工】1879(明治12)年

A23



国立京都国際会館



台形・逆台形の組み合わせで形づくられ、合掌造りか神社の社殿を彷彿させる日本の伝統様式をモチーフとした独創的な造形。日本の戦後モダニズムを代表する異貌の名作です。

● 11/1(土)【メインホール・貴賓室】13:00-16:00【Room D】13:00-17:00

【公開箇所】メインホール、貴賓室、Room D 【竣工】1966(昭和41)年【設計】大谷幸夫【施工】大成建設

その他

近代以降の都市形成の流れを示す、京都御所の西側エリア。西陣の織物産業地域と隣接しつつ、京都府庁周辺は官庁街として発展してきました。堀川通を中心に、戦前・戦後の区画整理による住宅地と商業が広がっています。

見学サポート① オーディオガイド

まるで専属ガイド。

自分のペースで何度でも。

すべてのパスポート公開建築に、オーディオガイドを用意しました。建築祭実行委員の建築史家が、公開建築の見どころ、特徴、歴史背景などをわかりやすく丁寧に語るスペシャルコンテンツ。自分の言葉でライブ感たっぷりにその建築への愛を語ります。地図と連動した便利なアプリがおすす。また、ウェブブラウザで直接聴くこともできます。



DLはこちら

デジタルスタンプラリー

建築アイコンを集めて、
自分だけの建築マップを。



スマホアプリでめぐるスタンプラリーを開催！ 期間中、今年のパスポート公開建築をめぐる、GPSで場所を自動認識し、スタンプを獲得。スタンプはそれぞれの公開建築をモチーフにしたオリジナル建築アイコン。手に入れたら、ぜひ実際の外観とじっくり見比べてみてください。そして、他の建築とも比べてみてください。どこが同じで、どこが違う？ モダン建築の見方がちょっと深まる新しい体験。自分だけのモダン建築マップを作りながら、京都と建築を自在に楽しめてください。

建築祭という新たな文化の胎動

2025 年京都モダン建築祭に寄せて

[Naotake Maeda]

「京都モダン建築祭」は、2022年に市民と専門家の協働によって始動した。京都市内36件の建築を一斉公開した初回は3日間で延べ3万人以上を動員。参加者の半数が府外からの来訪者であったことから、全国的な注目を集めた。以後、学識者、観光団体、行政機関を交えた実行委員会体制のもと、参加建築や公開エリア、開催期間などを拡充し、京都の秋を彩る風物詩へと成長してきた。

本祭は2021年、京都市京セラ美術館で開催された展覧会「モダン建築の京都」を契機に構想。同展は文化財保存と文化観光の活性化を目標に掲げ、都市全体を展示室に見立てた試みを企業や団体との連携によって展開した。オフィシャルブックの刊行、まち歩きアプリの開発、建物特別公開や建築ツアー、飲食店とのコラボメニュー、オンラインサロン、他館展との連携などを通じ、現存する名建築と展示を往還させ、美術館とまちを結ぶ新しい体験を創出した。なかでもオンラインサロンは本祭事務局を担う「まいまい京都」と連携し、幅広い層の参加を得て閉幕後も継続。現在は東京・神戸・京都に広がる「建築祭オフィシャルクラブ」へと発展している。こうした活動やクラウドファンディングによる支援が、本祭の初開催を実現へと導いたのである。

近年、建築を文化として再評価する動きは全国に広がっている。2014年に大阪市が始めた「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」はその先駆的存在であり、建築を“生きた文化”として市民に開いた点で画期的であった。このモデルは全国へと波及し、前述の展覧会を経て2022年に「京都モダン建築祭」が誕生し、建築祭ブームの火付け役となった。続いて、2023年には港町の異国情緒漂う近代建築群を舞台とした「神戸モダン建築祭」、2024年には都市全体を舞台にする「東京建

築祭」と、新たな開催が相次いだ。そして本年、建築公開から展示までを複合的に組み合わせた「ひろしま国際建築祭」が初めて開催され、3年ごとに継続する先進的な試みとして注目を集めている。

2025年の「京都モダン建築祭」もまた、一層の進化を遂げる。過去最多の129件が参加し、そのうち25件が初参加である。さらに北山・松ヶ崎、吉田・北白川エリアが新たに加わり、市全域を舞台とするスケールへと拡大した。明治期の煉瓦建築から現代の前衛的建築まで、多様な作品を有機的に体感できるほか、シンポジウム、展示、音楽イベント、オリジナルグッズなど関連企画も充実している。ツアーやレクチャーを通じて、知識と体験の共有がさらに深まることだろう。

建築祭は、建築を単なる「モノ」ではなく、人と社会の関係を映す「文化」として提示する場である。文化庁でも「建築文化振興法(仮称)」が検討されるなか、建築文化活動は制度的支援を受けつつ新しい段階へと進みつつある。「京都モダン建築祭」はその先端に立ち、建築が孕む思想や社会課題を広く共有し、未来へとつながる多様な問いを投げかけている。

京都は平安時代から現代まで、各時代の建築が濃密に残る稀有な都市である。その全域を舞台にした本祭典は、建築を愛でることが都市を理解し、活かすことにつながることを明確に示している。過去を学び、現在を楽しみ、未来を描く——建築祭は、その扉を開く鍵なのである。



前田尚武(まえだ・なおたけ)

キュレーター／一級建築士

●1970年東京都出身。森美術館、京都市京セラ美術館を経て、現在、京都美術工芸大学特任教授、CFA |Curat ion for Architecture 代表取締役。2026年より京都産業大学文化学部文化観光学科教授着任予定。「建築の日本展」(2018)、「モダン建築の京都」(2021)などの建築展を企画。ひろしま国際建築祭チーフキュレーター、京都モダン建築祭実行委員、丹後新資料館企画推進プロデューサー。2019年度日本建築学会文化賞、日本空間デザイン賞2021博物館・文化空間部門賞など受賞。

後期 パスポート公開スケジュール／公開建築一覧

Point Mapで見る



エリア	No.	建築・施設名／プログラム名	11.8 (土)	11.9 (日)
北大路	B1	京都復活教会	10:00-17:00	13:00-17:00
	B2	紫明会館	10:00-17:00	10:00-17:00
	B3	日本福音ルーテル賀茂川教会	10:00-17:00	
衣笠・北野	B4	櫻谷文庫 (旧木島櫻谷家住宅)	10:00-17:00 (最終入館 16:00)	10:00-17:00 (最終入館 16:00)
	B5	衣笠会館 (旧藤村岩次郎邸)	11:00-16:00	11:00-16:00
	B6	京都府立堂本印象美術館 (堂本美術館)	10:00-17:00	10:00-17:00
	B7	立命館大学衣笠キャンパス 以学館・末川記念会館	10:00-17:00	10:00-17:00
西陣	B8	京都市考古資料館 (旧西陣織物館)	10:00-16:30	
	B9	be 京都	10:00-17:00	10:00-17:00
	B10	船岡温泉 要オンライン整理券	10:00-14:00	
	B11	元西陣小学校	10:00-17:00	
御所西	B12	京都府庁旧本館	13:00-17:00	13:00-17:00
	B13	聖アグネス教会	10:00-17:00	
	B14	平安女学院大学 明治館		10:00-17:00
	B15	堀川団地 要オンライン整理券	10:00-16:00	10:00-16:00
御所東	B16	鴨沂会館	10:00-17:00	10:00-17:00
	B17	京都府立医科大学 本部棟		10:00-17:00
	B18	毎日新聞京都ビル		10:00-17:00
	B19	まいまい事務所 (毎日新聞京都ビル2F)	10:00-17:00	10:00-17:00
吉田	B20	京都大学人文科学研究所分館 要オンライン整理券	10:00-16:30	10:00-16:30
	B21	京都大学 尊攘堂	10:00-17:00	10:00-17:00
	B22	茂庵	10:00-16:00 (最終受付 15:30)	10:00-16:00 (最終受付 15:30)
岡崎	B23	関西美術院		10:00-17:00
	B24	旧御所水道ポンプ室 要オンライン整理券	12:00-14:00 15:30-17:00	12:00-14:00 15:30-17:00
	B25	京都市京セラ美術館	10:00-17:00	10:00-17:00
	B26	京都市武道センター (旧武徳殿)		18:00-20:00
	B27	京都府立図書館	10:00-17:00	10:00-17:00
	B28	泉屋博古館	10:00-19:00	10:00-17:00
	B29	本願寺水道水源池	10:00-16:00	10:00-16:00
東山	B30	あじき路地	10:00-17:00	10:00-17:00
	B31	京都市円山公園音楽堂		10:00-17:00
	B32	祇園くろちくビル	10:00-17:00	10:00-17:00
	B33	祇園甲部歌舞練場	10:00-17:00	10:00-17:00
	B34	五龍閣 (旧松風嘉定邸)	10:00-17:00	10:00-17:00

※公開日時、公開内容は変更になる場合があります



見学には
オンライン整理券
が必要です



写真撮影・WEB投稿



原則可だが
一部制約あり



靴を脱いで
あがる場所あり。
必ず靴下を着用



トイレ使用可



駐輪場あり

北大路

近代の区画整理と宅地開発によって都市化が進んだ北大路エリア。かつては田畑が広がっていたこのあたりは、明治以降の都市拡大に伴い、住宅や教育・文化施設の建設が進み、現在のように発展してきました。

B2



紫明会館



連続アーチ窓にスペイン瓦、丸窓の装飾。アールデコやスパニッシュ、多様な意匠で彩られた建築です。京都府師範学校の同窓会館として、昭和初期に建てられました。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 2階談話室、3階講堂、階段 [竣工] 1932(昭和7)年 [設計] 十河安雄 [施工] 清水組 (現・清水建設)

衣笠・北野

北西部に位置し、織物産業と共に発展した地域です。北野天満宮など歴史的な神社があり、文化的景観の重層性が顕著。都市の拡がりに伴う住宅地開発が進み、かつての農村地帯が近代的な町並みに変化した様子も垣間見えます。

B5



衣笠会館

(旧藤村岩次郎邸)



京都綿ネル創業者の一人、藤村岩次郎の旧自邸。住宅には珍しい赤レンガの建物で、部屋ごとに意匠の異なる暖炉や軒の歯型装飾デンティルなど、随所の工夫が見どころです。

● 11/8(土) 11:00-16:00 ● 11/9(日) 11:00-16:00

[公開箇所] 1階 (一部除く)、2階 [竣工] 1905(明治38)年

B1



京都復活教会



白亜の麗姿と高くそびえる鐘楼が目目を惹く、堀川北大路のランドマーク。伝統的な教会らしさを表現しながら、幼稚園を併設し、地域の集いの場所として現在も機能しています。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 13:00-17:00

[公開箇所] 礼拝堂 [竣工] 1935(昭和10)年 [設計] W・M・ヴォーリス [施工] 田林工務店

B3



日本福音

ルーテル賀茂川教会



ヴォーリスが戦後に手がけた貴重な教会建築のひとつです。赤い瓦屋根にクリーム色の壁。角には塔、建物正面には小さなバラ窓。中世イタリアの教会を思わせる静かな佇まい。

● 11/8(土) 10:00-17:00

[公開箇所] 礼拝堂 [竣工] 1954(昭和29)年 [設計] ヴォーリス建築事務所

B4



櫻谷文庫

(旧木島櫻谷家住宅)



和館・洋館・画室と3棟の京都市指定有形文化財を有し、櫻谷作品や櫻谷の収蔵品をはじめ数千点以上の資料類を収蔵。衣笠に息づく木島櫻谷の世界を堪能してください。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

※最終入館 16:00

[公開箇所] 和館、洋館、画室 [竣工] 1913(大正2)年 [改修] (画室) 1917(大正6)年 [設計] 不祥 [施工] 大工西村平右衛門他

見学サポート② 建築ナビゲーター

対話から始まる建築体験をナビゲート。



一部の公開建築には、案内役となる建築ナビゲーターがいます。建物の見どころや味わい方を、その場で丁寧に解説。時には、建物にまつわる裏話や個人的なエピソードが飛び出すことも。偶然の出会いから生まれる会話も、建築をめぐる醍醐味のひとつ。[建築ナビゲーター]を見かけたら、ぜひ気軽に話しかけてみてください。

※建築ナビゲーターの配置・対応時間等、詳しくは公式サイトへ

B6



京都府立堂本印象美術館 (堂本美術館)



日本画家・堂本印象が自らデザイン・監修。モダンで独創的な外壁、室内装飾、ステンドグラス、ドアノブに至るまで、堂本印象の芸術世界が十分に表現されています。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 1階応接室 [竣工] 1966(昭和41)年 [設計] 装飾意匠: 堂本印象 [施工] 栗本建設工業

B7



立命館大学衣笠キャンパス 以学館・末川記念会館



京都を拠点に活躍した建築家・富家宏泰の2建築を特別公開。左右に翼を広げたような以学館。末川記念会館には日本に2例のみ残る陪審法廷(京都地方裁判所より移設)がある。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 以学館内、末川記念会館 [竣工] 〈以学館〉1965年・改修2000年、〈末川〉1983年・改修2000年 [設計] 〈竣工〉富家建築事務所 / 〈改修〉山下設計(以学館)、京都建築事務所(末川)

B8



京都市考古資料館 (旧西陣織物館)



ドイツに留学し、合理性や機能性を追求するモダニズム様式を学んだ本野精吾が帰国後に設計。日本でもっとも早い段階のモダニズム建築が時代を超えて今に生きています。

● 11/8(土) 10:00-16:30

[公開箇所] 旧貴賓室 [竣工] 1914(大正3)年 [設計] 本野精吾 [施工] 清水組(現・清水建設)

B9



be 京都



築200年の京町家を改装したアートギャラリー&スペース。江戸末期の築と推測されますが、通常お寺に多い竹の節欄間の存在など、数々の謎に包まれた「生きた町家」です。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 和室、ギャラリー1・2階 [竣工] 江戸後期(不詳) [改修] 2006(平成18)年

B10



船岡温泉



※要オンライン整理券
色鮮やかなマジョリカタイルが圧巻です。玄関は唐破風、脱衣場には格天井。市民が通う絢爛な「町のお風呂屋さん」として今も現役です。

● 11/8(土) 10:00-14:00

[公開箇所] 脱衣所、両浴室(希望者のみ) [竣工] 〈脱衣場〉1923(大正12)年、〈浴場〉1932年(昭和7)年 [改修] 〈改造〉1928年(昭和3)年(脱衣場)

B11



元西陣小学校



大きく取られた窓や水平線が強調されたデザイン。内部には木の階段や廊下があり、今も地域の活動などに使われています。京都でも珍しい昭和初期のアルデコ木造校舎です。

● 11/8(土) 10:00-17:00

[公開箇所] 本館 [竣工] 1936(昭和11)年 [設計] 京都市営繕課

見学サポート③ オンライン整理券

参加者にも
地域にもやさしい、
混雑緩和の新システム。

今年の一部のバスポート公開建築で「オンライン整理券」を導入しました。スマートフォンやパソコンから事前に取得でき、指定の時間に見学することができるといいます。長時間の行列や周辺の混雑を減らすことで、バスポート公開に訪れる参加者の負担を軽くすると同時に、来訪者を迎える地域の皆さんにも安心して受け入れていただけるようにと導入したものです。対象建築や取得方法は公式サイトでご確認ください。



御所西

近代以降の都市形成の流れを示す、京都御所の西側エリア。西陣の織物産業地域と隣接しつつ、京都府庁周辺は官庁街として発展してきました。堀川通を中心に、戦前・戦後の区画整理による住宅地と商業が広がっています。

B13



聖アグネス教会



京都最古の聖堂建築の1つ。外観は重量感のある煉瓦造。内部は小屋組みの梁など木の構造体が美しい。バラ窓ほか30以上のステンドグラスが荘厳な折りの空間を作り上げています。

● 11/8(土) 10:00-17:00

[公開箇所] 聖堂内 [竣工] 1898(明治31)年 [設計] ジェームズ・マクドナルド・ガーディナー

B15



堀川団地



日本初の鉄筋コンクリート造店舗併用住宅が、近年のリノベを経て若者が集う場に再生。今年も京都美術工芸大学との連携により公開。次世代を担う建築学生がお迎えします。

● 11/8(土) 10:00-16:00 ● 11/9(日) 10:00-16:00

※既存住戸見学にはオンライン整理券が必要です。

[公開箇所] 堀木町団地 [竣工] 1951(昭和26)年～1954(昭和29)年 [設計] 京都府住宅協会

御所東

京都御苑の東側に位置し、古くからの政治・文化の中心です。歴史的な寺院や文化的施設が点在し、御所を中心とする文化ゾーンの一翼を担う地域。幅広い時代の多様な文化遺産が連携して地域像が形成されています。

B12



京都府庁旧本館



明治以降、府県庁舎建築の模範となった日本最古の現役官公庁舎。中央には玄関とバルコニー、その上にベディメントや三連縦長窓が配され、正面性と品格を生み出しています。

● 11/8(土) 13:00-17:00 ● 11/9(日) 13:00-17:00

[公開箇所] 正庁、旧議場、旧知事室、中庭 [竣工] 1904(明治37)年 [設計] 松室重光、久留正道、一井九平

B14



平安女学院大学 明治館



イギリス人建築家ハンセルによる煉瓦造二階建ての重厚な学校建築。ダッチゲブルの破風屋根や砂岩の白帯装飾が印象的。明治～令和まで学びの場として歴史を重ねています。

画像提供: 学校法人平安女学院

● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 明治館内部 [竣工] 1895(明治28)年 [設計] アレクサンダー・ネルソン・ハンセル [施工] 清水組(現・清水建設)

ラーニングプログラム

建築への憧れが、
都市の未来を変えてゆく。



子どもの目で発見的に建築を楽しむワークショップや、気持ちを言葉にしていくな対話型建築鑑賞、地元の大学生が案内役を務めるツアーなど、子どもから大人まで楽しめるラーニングプログラムを展開しています。未来を担う世代が建築に出会う機会をつくり、夢やあこがれの苗代となることは、京都モダン建築祭の大切なテーマのひとつです。

画像提供: 京都美術工芸大学

B16



鳴沂会館



京都府営繕課の十河安雄が設計した鉄筋コンクリート造の同窓会館です。左右非対称のモダンな外観を備え、昭和初期の建築デザインの一端がよくあらわれています。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 階段、3階茶室 [竣工] 1936(昭和11)年 [設計] 十河安雄(京都府営繕課)

B17



京都府立医科大学 本部棟



京都唯一のネオゴシック建築。左右対称の堂々たる構えに、反復される尖頭アーチの、印象的な佇まい。当時流行したアールデコ風のステンドグラスが華を添えます。

● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 1階歴史館、3階西側階段教室・東側階段教室 [竣工] 1929(昭和4)年 [設計] 十河安雄 [施工] 上田辰三



B18



毎日新聞京都ビル



特急ラビート等を手がけた建築家・若林広幸の名作。「構図好み」はここにも。「1928ビル」として現在残る先代毎日新聞京都支局ビルへのオマージュも見られます。

● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 7階ホール [竣工] 1999(平成11)年 [設計] 若林広幸建築研究所 [施工] 大林組



B19



まいまい事務所 (毎日新聞京都ビル2階)



鉄・コンクリート・木。シンプルな素材を使いながらも、打ち放しの壁が斜めに、階段のステップがランダムな形をしているなど、趣向を凝らした建築空間を味わってください。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 事務所内 [竣工] 1999(平成11)年 [設計] 若林広幸建築研究所 [施工] 大林組



テーマ鑑賞のすすめ

自分なりの視点で、
建築を切り取る楽しみ。



教会、町家、番組小学校に花街建築。テーマを決めて鑑賞すると、見慣れた景色がまったく違って見えてきます。他にも、武田五一やヴォーリス等の建築家で見える、竣工年代で区切る、ステンドグラスに注目する、またマニアックなところでは施工会社で見える……など、ひとつの切り口から広がる建築の多様さは、京都という都市の奥深さそのものです。120超の参加建築から自分なりの物語を紡ぎ、ディテールから歴史まで自由に味わう建築祭を楽しんでください。

吉田・北白川

吉田山を中心に大学群や住宅地が広がる地域。大学キャンパスや文化施設が点在します。地形的には東山の延長線上にあり、山並みと市街地が近接または融合しています。御所東側の鴨川扇状地の一部として捉えられます。

B20



京都大学人文科学研究所分館 (旧東方文化学院京都研究所)



撮影：便利堂

● 11/8(土) 10:00-16:30 ● 11/9(日) 10:00-16:30

[公開箇所] 1階玄関ホール、中庭(雨天中止) [竣工] 1930(昭和5)年 [設計] 東郷謹三 [施工] 大林組

※要オンライン整理券

漢籍20万冊超を収蔵する大書庫を核とする研究施設。中庭を囲む修道院風の白亜の建築で、スペイン瓦や東洋モチーフの潇洒な装飾が印象的。



B21



京都大学 尊攘堂



蔵のような外観に、縦長窓や玄関ポーチなど西洋的なデザインが施された、和洋折衷の佇まい。現在は文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センターの資料室として使用。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 尊攘堂内 [竣工] 1903(明治36)年 [設計] 不詳



B22



茂庵



大正時代の数寄者・谷川茂次郎が山の中に造営した一大茶苑「茂庵」。森の中に忽然と姿をあらわす貴重な建築群を3棟一挙公開。その非日常空間を存分に堪能できる機会です。

● 11/8(土) 10:00-16:00 ● 11/9(日) 10:00-16:00

※最終受付 15:30

[公開箇所] 食堂、田舎席、静閑亭(地下・待合含む) [竣工] 1926(大正15)年頃 [設計] 不詳 [施工] 岡田永青



岡崎

平安期より貴族の別荘地として栄え、明治期の琵琶湖疏水と博覧会を契機に、近代化を象徴する祝祭空間として発展しました。白川扇状地の恵まれた環境を生かして人が住み続けてきた歴史がこのエリアの今につながっています。

B24



旧御所水道ポンプ室



京都御所へ防火用水を送水するため、琵琶湖疏水から取水・圧送した施設。明治期を代表する宮廷建築家・片山東熊の設計による石と煉瓦の対比が美しい煉瓦造建築物です。

● 11/8(土) 12:00-14:00/15:30-17:00 ● 11/9(日) 12:00-14:00 / 15:30-17:00 ※要オンライン整理券

[公開箇所] 外観のみ(敷地内) [竣工] 1912(明治45)年 [設計] 片山東熊、山本直三郎(宮内省内匠寮) [施工] 宮内省内匠寮(直営)



B26



京都市武道センター (旧武徳殿)



伝統的な和風建築の外観ながら、内部の主屋部分は西洋のトラス構造を取り入れた近代ならではの建築。このトラス構造により、柱の少ない大空間が実現しています。

● 11/8(土) 18:00-20:00

[公開箇所] 武道センター(旧武徳殿)内部 [竣工] 1899(明治32)年 [設計] 松室重光 [施工] 直営(大日本武徳会)



B23



関西美術院



私設の本格的洋画研究所として世界最古、洋画家浅井忠設立の名門画塾。浅井の同僚だった武田五一が設計しました。アトリエ建築の特徴である北側採光の美しい空間です。

● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] アトリエ [竣工] 1906(明治39)年 [設計] 武田五一



B25



京都市京セラ美術館



通常非公開、折上格天井をもつ格式高い貴賓室(2F西側)を特別公開。建築家・青木淳と西澤徹夫が画期的なりノベーションを手掛け話題を呼んだ、新時代の美術館です。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 貴賓室 [竣工] 1933(昭和8)年 [改修] 2019(令和元)年 [設計] 原案: 前田健二郎、改修案: 青木淳・西澤徹夫設計共同体(基本設計者)、松村組・昭和設計(実施設計者)



B27



京都府立図書館



阪神淡路大震災の被害を受け外壁保存の形で改築。外壁の一部として現存する外階段は貴重な存在です。館内3Fでは武田五一デザインの椅子など現存家具や資料を特別展示。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 外階段、3階家具展示コーナー [竣工][旧館] 1909(明治42)年 [新館] 2001(平成13)年 [設計][旧館] 武田五一 [新館] 日本設計



B28



泉屋博古館



柱で持ち上げられたピロティ形式のモダニズム建築。住友家の古代青銅器コレクションを保管展示するため大阪万博の年に建てられ、2025年にリニューアルオープンしました。

● 11/8(土) 10:00-19:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

[公開箇所] 1号館(青銅器館) [竣工] 1970(昭和45)年 [設計] 日建設計工務(現・日建設計)、小角亨 [施工] 鴻池組住友建設共同企業体



B29



本願寺水道水源池



琵琶湖疏水から東本願寺へ防火用水を送水する「本願寺水道」の水源池です。これまで開かれることのなかった、知る人ぞ知る近代化遺産が、2日間限定で特別公開されます。

● 11/8(土) 10:00-16:00 ● 11/9(日) 10:00-16:00

[公開箇所] 敷地内 [竣工] 1894(明治27)年



東山

東山の山裾に神社仏閣群が広がるエリア。中世から景勝地として名所の連なりが形成され、近世には別荘地として発展しました。近代に入ってから観光地および住宅地として発達し、望楼や眺望を活かした建築が多いのも特徴です。

B30



あじき路地



明治末期に建てられた長屋で、若手作家達が家族のように職住一体の暮らしを営む「あじき路地」。採光のため南棟は平屋、北棟は2階建て。現代に生きる明治の路地空間です。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

【公開箇所】営業店舗 【竣工】1910(明治43)年



B32



祇園くろちくビル



世界的建築家・横文彦の知られざる傑作。施主が酒販業を営んでいたことから、上部は日本酒の樽をイメージした円筒形に。横文彦の「奥の思想」が体感できる重層的空間です。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

【公開箇所】2階 【竣工】1981(昭和56)年【設計】横文彦【施工】竹中工務店



B34



五龍閣 (旧松風嘉定邸)



“関西近代建築の父”武田五一が設計。製陶業を営む松風嘉定の邸宅として建てられました。多数の鷗尾をもつ洋折衷の外観、内部は大正ロマンあふれる空間が広がります。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

【公開箇所】1階、2階 【竣工】1920(大正9)年頃【設計】武田五一【施工】不明



B31



京都市 円山公園音楽堂



“フォークの聖地”として知られる野外音楽堂です。ダイナミックに張り出した大屋根や、地形を活かした扇型の観客席が特徴的。扉の一部には往時の様式的な装飾が残ります。

● 11/9(日) 10:00-17:00

【公開箇所】室内、ステージ、客席 【竣工】1927(昭和2)年【設計】中野進一(京都市営繕課)



B33



祇園甲部歌舞練場



祇園甲部の芸妓・舞妓の芸芸発表の場として、春の風物詩「都をどり」や秋の「温習会」を開催。伝統性と近代性を併せもつ空間が現代の最新技術によって継承されています。

● 11/8(土) 10:00-17:00 ● 11/9(日) 10:00-17:00

【公開箇所】本館、玄関、別館、八坂倶楽部(祇園花街芸術資料館) 【竣工】1913(大正2)年【正門のみ】1936(昭和11)年



U29 / 子ども同伴無料

若者・学生・子どもにもっと建築体験を。



京都モダン建築祭では、2023年から「U29バス」を導入しています。29歳以下向けのお求めやすいパスポートで、学生はもちろん、社会でがんばる若い世代も対象となります。また、初年の2022年から、パスポート公開の見学について、中学生以下のおさんは、保護者1名につき1名まで同伴無料(2人目からはパスポートが必要)。家族や若者同士で建築をめぐる体験は、感性を育む特別な時間です。京都モダン建築祭は、次世代の学びと感動を応援しています。

琵琶湖疎水の国宝・重文指定を記念して 京都市上下水道局の協力による 特別プログラム多数開催

【バスポート公開】御所水道ポンプ室 [11/8-9] **P21**

【記念ガイドツアー】 **P26**

・京都市上下水道局×京都モダン建築祭、特別ツアー [11/3]

・蹴上浄水場ツアー [11/5・7] 新山科浄水場ツアー [11/5・7]

・蹴上発電所から発電所取水口水門まで [11/7]

【記念講演会】琵琶湖疎水記念館にて [11/9] **P5**

「金字塔」としての琵琶湖疎水

[Kazuo Kasahara]

琵琶湖疎水は2025年、「近代京都を象徴する、明治日本における都市基盤施設の金字塔」として、第一隧道、第二隧道、第三隧道、インクライン、南禅寺水路閣が国宝に指定され、旧御所水道ポンプ室を含むその他の施設も多くが重要文化財に指定された。一体何が「金字塔」とまで位置づけられるほどの高い評価を得たのか。ここでは歴史をたどりながらその理由を考えてみたい。

琵琶湖疎水が誕生した背景には、近代の始まりにおける京都の苦難があった。江戸時代末期の蛤御門の変で焦土と化した街の復興が終わらないうちに、明治維新とともに東京に奠都されることになった。人口は減少し、何よりも都としての機能を失ったことへの落胆が市民の間に広がっていた。そんな中、「古都」となった京都を復興させるべく中心的役割を担ったのが、琵琶湖疎水であった。当時京都府知事だった北垣国道は、復興の鍵は近代的機械工業の導入だとし、その動力を担うものとして琵琶湖疎水の建設が構想されたのだ。

若き土木技術者田邊朝郎の陣頭指揮の下、第一隧道の工事が1885年に着工し1890年に完成する。インクラインなどを活用した運搬の役割は大きく、遊船も人気を博した。しかしその後、京阪電鉄の敷設やトラックの普及により、大正から昭和期になると運搬の役割は激減する。

京都の復興の中心を担ったのは、水力発電による電力であった。当初疎水沿いでは水車を活用した工場が軒を連ねたが、それ以上に、水力を用いた蹴上発電所が建設されたことが大きな影響を与えた。京都紡績、鐘淵紡績、島津製作所、煙草王で知られる村井兄弟商会、都ホテル、京都電気鉄道、そして京都電燈への供給により市内の各所の電灯に用いられるなど、次第に京都市民の生活を支えるようになる。

さらに、京都御苑となったかつての京都御所を火災から守るため新設された、御所水道に用いられたことも興味深い。1912年に建築家片山東熊と山本直三郎の設計によるポンプ室が設けられ、そ

のそばの九条山には貯水池が設けられ、約4km離れた京都御苑にまで消火用水を運んだ。また、1897年には約4.5km離れた東本願寺の消火用の本願寺水道も運用が始まり、インクラインの上端にはその水源池が設けられた。御所と東本願寺のための水道施設。いずれも京都ならではのものだと言える。

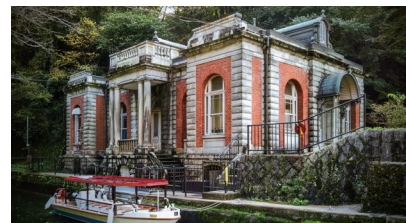
灌漑用水などへの利用も重要だ。琵琶湖疎水は蹴上で分線し、南禅寺の水路閣を通り、現在の哲学の道を経て約6km離れた松ヶ崎にまで届き、そこから分岐した水は農業に用いられた。さらに、南禅寺界隈では大阪や京都の企業家が別邸を建設したが、そこに疎水を導き、七代目小川治兵衛らによる名作の庭園が多数誕生することになる。

また、明治末に作られたもう1本の水路である第2琵琶湖疎水の水は蹴上浄水場、松ヶ崎浄水場、新山科浄水場へと流れ込み、水道となって配水され、今も京都市民の生活を支えている。建設当時から現在に至るまで、京都の復興を導き、少しずつ機能を変化させながらも、「一石十鳥」とでも言えるほど様々な活用され、京都の産業や市民生活、文化に影響を及ぼし続けていることになる。それこそが、「金字塔」として評価される所以なのである。



笠原一人(かさはら・かずと)
建築史家／京都工芸繊維大学准教授

●京都モダン建築祭実行委員長。専攻は近代建築史、建築保存再生論。リビングヘリテージデザイン理事。著書に『ダッチ・リノベーション』『村野藤吾のリノベーション』『建築家 浦辺鎮太郎の仕事』『建築と都市の保存再生デザイン』『関西のモダニズム建築』ほか。



ガイドツアー 90コース

2025.11.1(土) — 9(日) 会期中毎日開催 [要申込・有料]

さまざまなガイドが案内する特別なガイドツアーを毎日実施。
気軽な30分コースからお食事付きコースまで、
時間・内容・参加費はコースによってさまざまです。

Check!

空きがあれば
当日でも参加OK!



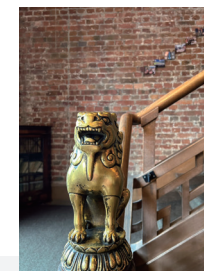
聞いて、歩いて、感じる。
人と建築に出会う旅へ



ガイドツアーって何? 参加方法は?

オーナーや研究者、建築家、地元の人、学生など、多彩なガイドが案内します。専門的な話から日常のエピソードまで、解説や対話を通して知る、見るだけではわからない物語。人と建築に出会う一期一会のショートトリップです。

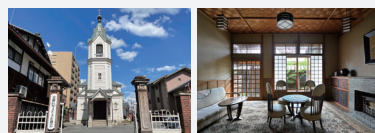
公式サイトの特典プログラム一覧から「ガイドツアー」をクリック。気になるコースを選んで、電子チケットサービス「teket」で申込・決済を。参加当日は申込完了メールを確認のうえ、直接集合場所へお越しください。



今年のみどころ



30分～60分の
ミニツアーが増えました



短い時間で気軽に参加できるミニツアーは、パスポート公開と組み合わせて楽しむのがおすすめです。いろんな建築を見たい日や、他のツアーの合間にも参加しやすく、京都モダン建築祭での建築体験をより豊かにしてくれます。



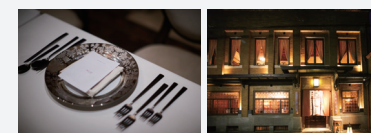
ツアーでしか行けない、
憧れの建築へ



京都モダン建築祭の参加建築の中には、ガイドツアーでしか見学できない建築があります。非公開の邸宅。大学のキャンパスや高校の校舎。銀行、企業、教会、料亭、ホテル、研究機関。憧れの建築をこの機会に体験してください。



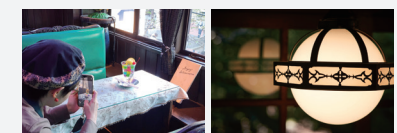
より多彩になった
食事・喫茶付きコース



名建築で昼食を、夕食を、そしてティータイムを。老舗のレストランやカフェから、リノベーションを経て活用される文化財まで。空間の魅力と京都ならではの美食をあわせて体験できる、人気のツアープログラムです。



朝・夜コース、開店前や
定休日の貸切見学も



朝の清らかな光、夜の幻想的な灯り、営業前の静けさ。時間帯によって異なる建築の表情を楽しめる特別なツアーです。パスポート公開の前後や、他の京都観光とも組み合わせやすく、めいっぱい楽しみたい人にもおすすめです。



2025年ガイドツアー 一覧

空気があれば
当日でも参加OK！



▶【前期】30分～45分のミニツアー

C1	ハリストス正教会	松室重光の建築美、日本最古ロシア・ビザンチン聖堂を特別案内	11/1 (土)
C2	元成徳中学校	F.L. ライトの影響を受けた学校建築、玄関ホールから旧作業室まで特別案内	11/1 (土) 他
C3	SACRA ビル	大正モダンのセセッション銀行建築、旧不動貯金銀行を特別見学	11/1 (土) 他
C5	八竹庵	豪商の迎賓館・洋館付き大型京町家を特別見学、武田五一の洋間から鉢見台まで	11/1 (土) 他
C6	パビリオンコート	古美術商の洋風陳列館、「旧山中商会」当主が特別案内 ★朝ツアー	11/1 (土) 他
C7	京都女子大学生生活デザイン研究所	東山に佇むモダン住宅「旧吉田邸」を特別案内	11/1 (土) 他

▶【後期】30分～45分のミニツアー

C8	衣笠山の家	増田友也の名作モダニズム邸宅、衣笠山の家を特別案内	11/9 (日)
C9	旧本野精吾邸	モダニズム建築の先駆的名作、建築家・本野精吾の自邸を特別案内	11/8 (土)
C10	旧堂本印象邸	“衣笠絵描き村”のアトリエ付き近代和風建築、堂本印象の邸宅を特別見学	11/8 (土) 他
C11	御所西官庁街	文化庁調査官と、モダン建築が立ち並ぶ官庁街へ	11/8 (土)
C12	今原町家	西陣のモダン京町家を当主が特別案内、ガラス煌めく洋間から数寄屋座敷まで	11/8 (土) 他
C13	鴨沂高校	京都の名門校を特別案内、帝冠様式のモダニズム建築から旧九条家茶室まで	11/8 (土)
C14	京都大学東南研図書室	明治の赤レンガ旧京都織物本社棟へ、大学の研究施設内部を特別案内	11/8 (土) 他
C15	ロームシアター京都	戦後モダニズムの傑作、巨匠・前川國男の劇場建築を特別案内	11/8 (土) 他
C16	旧大倉喜八郎邸	奇想の建築家・伊東忠太が手がけた「真葛荘」、建築史家と特別見学	11/8 (土) 他
C22	白亜荘	ヴォーリスの洋館アパート、大正時代の元寄宿舎を入居者が特別案内	11/9 (日)

▶【前期】50分～60分のミニツアー

C17	八竹庵	くろちく重役と豪商の迎賓館を特別見学、武田五一の洋間から鉢見台まで	11/1 (土)
C4	矩庵（徳正寺）	藤森照信はじめての茶室設計「矩庵」を住職が特別案内、京都徳正寺へ	11/2 (日)
A14	らくたび京町家	代表若村さんが特別案内、洋間と茶室を設えた近代京町家代表例 ★夜ツアー	11/2 (日)
C18	東本願寺	本山僧侶と世界最大級の木造建築へ、白書院・宮御殿・大寝殿を特別見学	11/1 (土) 他
C19	NISSHA 本館	小西館長と明治の近代化産業遺産へ、レンガ造の本館を特別案内	11/1 (土) 他
—	北山通り	世界的建築家の名作並ぶ北山へ、安藤忠雄から磯崎新、高松伸まで	11/1 (土)

▶【後期】50分～60分のミニツアー

C20	カトリック西陣教会	文化財マネージャーと、占領期の聖堂建築を特別見学	11/8 (土)
C21	下里家住宅	祇園のお茶屋建築を特別見学＆「するがや祇園下里」冷やしあめ付き	11/8 (土) 他
C23	駒井家住宅	ヴォーリス建築の名作、スパニッシュ邸宅建築を特別案内	11/9 (日) 他
info	QUESTION	コミュニティ・バンク京信の新拠点を特別案内、バックヤードから屋上まで	11/8 (土)
A7	京都市学校歴史博物館(元開智小学校)	明治の擬洋風・モダン京都の学校建築が博物館に、学芸員が特別案内	11/8 (土) 他
C24	藤田家住宅	贅を尽くした織元屋敷、当主が洋室付きモダン京町家＆茶室を特別案内	11/8 (土) 他
C25	旧喜多邸	藤井厚二の木造モダニズム、住宅建築の名作を特別案内	11/8 (土) 他

▶琵琶湖疏水・国宝重文記念ツアー

B24	琵琶湖疏水・旧御所水道ポンプ室	京都市上下水道局×建築祭、琵琶湖疏水記念館から旧御所水道ポンプ室まで	11/3 (月祝)
C26	新山科浄水場	戦後モダニズムの巨匠・増田友也の名作、笠原先生と徹底探検	11/5 (水) 他
C27	蹴上浄水場	戦後モダニズムの巨匠・増田友也の代表作、笠原先生と特別見学	11/5 (水) 他
C28	琵琶湖疏水・蹴上発電所	蹴上発電所から発電所取水口水門まで、建築史家とモダン建築めぐり	11/7 (金)
—	琵琶湖疏水	土木技術者が大解剖、御所水道ポンプ室から大日山発電貯水池、水路閣まで	11/9 (日)
—	琵琶湖疏水	5つの全国宝へ、大津開門から蹴上船溜まで琵琶湖疏水を堪能ツアー	11/3 (月祝)
A20・C29	本願寺水道・東本願寺・渉成園	建築史家といく本願寺水道、東本願寺＆渉成園の非公開エリア特別案内付き	11/2 (日)
B29	本願寺水道水源池	京都の地下に眠る近代インフラ「本願寺水道」を追う、水源池を特別見学	11/8 (土)
C30	白河院	武田五一×七代目植治の別邸を特別見学、建築史家と疏水の近代庭園へ	11/8 (土) 他

▶ツアーでしか行けない建築へ

C31	京都大学花山天文台	天文博士とアマチュア天文学の聖地へ、白亜のモダニズム建築を特別見学	11/3 (月祝)
—	大丸ヴィラ	憧れの洋館を特別見学、ヴォーリスが手がけた英国チューダー様式の邸宅へ	11/3 (月祝) 他
C32	聖母女学院&カトリック伏見教会	笠原先生と“軍都”のモダン建築へ、聖母女学院&カトリック伏見教会特別見学	11/4 (火)
A1・C33	京都工芸繊維大学	武田五一と楽庵からヴォーリス建築まで、笠原先生が工織大キャンパス特別案内	11/4 (火)
C34・C35	コミュニティ・バンク京信 北野支店・西陣支店	菊竹清訓のアンプレラ・ストラクチャーとコミュニティ・バンク構想	11/6 (木)

C36	コミュニティ・バンク京信 北山支店	アンプレラ・ストラクチャーの名作を特別見学、北山モダン建築巡り	11/6 (木)
C37	丸福樓	アールデコ傑作建築「任天堂旧本社」、旧住居棟から事務所棟まで全4棟の客室へ	11/7 (金)
C38	大谷大学	倉方先生とキャンパス特別見学、赤レンガ旧本館からモダニズムの名品まで	11/9 (日)
C39・C40	平安神宮・京都国立近代美術館	倉方先生と2つの名作、非公開エリア特別見学＆正式参拝	11/9 (日)

▶人気のランチ付きツアーがさらに多彩に

C41	ウェスティン都ホテル京都	村野藤吾の名作ホテル特別案内、プッフェランチ付き	11/1 (土) 他
A9	ザ・ゲートホテル京都高瀬川	館内特別見学＆ランチコース、元立誠小学校のリノベーションホテルへ	11/3 (月祝)
C42	シックスセンスズ 京都	明治大理石社長と“石”目線で特別見学&スペシャル“石”ランチコース	11/4 (火)
C43	ザ・プリンス京都宝ヶ池	村野藤吾の名作ホテル、スイートルームから数寄屋造り茶寮まで特別案内	11/4 (火)
C37	丸福樓	アールデコの傑作建築「任天堂旧本社」特別案内、館内スペシャルツアー	11/5 (水)
C44	エースホテル京都	倉方先生と隈研吾建築めぐり、生まれ変わった旧京都中央電話局を特別見学	11/5 (水)
C45	アカガネリゾート	建築史家と旧三谷伸銅「アカガネ邸」特別見学、銅尽くし望楼から貴賓室まで	11/5 (水)
C46	鮎鴉	鴨川に佇む京都随一の料亭建築、五層の楼閣からコースランチまで	11/6 (木)
C47	東華旅館	ヴォーリス建築事務所の名作へ、オーナー＆建築家が開店前に特別案内	11/6 (木)
C48	ザ・ホテル青龍 京都清水	元清水小学校のラグジュアリーホテル、館内特別見学&貸切コースランチ	11/7 (金)
C49	フォーチュンガーデン 京都	武田五一の名建築、島津製作所旧本社を特別見学&コースランチ	11/8 (土) 他
C50	八坂圓堂	祇園の奥座敷、設計士が数寄屋建築を開店前に貸切案内&コースランチ付き	11/9 (日)

▶ディナー付きツアーで一日を締めくくる

C49	フォーチュンガーデン 京都	館内特別見学&ディナーコース、武田五一の名建築・島津製作所旧本社	11/1 (土)
A9	ザ・ゲートホテル京都高瀬川	元立誠小学校のリノベーションホテルへ、館内特別見学&ディナーコース	11/2 (日)
C51	膳處漢ぼっち	元呉服商の洋館付き大型モダン町家、倉方先生と特別見学&ディナーコース	11/3 (月祝)
C45	アカガネリゾート	250年続く老舗企業の社長旧邸「アカガネ邸」特別案内、ディナーコース付き	11/8 (土) 他
C52	ザ ソウドウ 東山	日本画の巨匠・竹内栖鳳の旧邸「東山舳堂」特別案内、ディナーコース付き	11/9 (日)

▶喫茶・アフタヌーンティーの優雅な時間

C53	喫茶ソワレ	店主が贈る特別ツアー&貸切茶会、青い幻想空間が広がるレトロ喫茶へ	11/3 (月祝)
C41	ウェスティン都ホテル 京都	村野藤吾の名作ホテル特別案内、アフタヌーンティー付き	11/3 (月祝) 他
C54	長楽館	贅を極めた迎賓館へ、建築史家と開館前に特別見学&アフタヌーンティー	11/4 (火)
C6	パビリオンコート	古美術商の洋風陳列館「旧山中商会」当主が特別案内、ケーキセット茶会付き	11/4 (火) 他
C55	フランソア喫茶室	京都を代表する老舗喫茶、特別モーニング&開店前に貸切見学 ★朝ツアー	11/5 (水) 他
C56	吉田山荘	旧皇族・東伏見宮家別邸、甲斐みのりさんと特別見学&真古館でティータイム	11/1 (土) 他

▶一つの建築をじっくり深掘り

A23	国立京都国際会館	戦後モダニズムの金字塔、建築史家と日本初の国際会議場を特別見学	11/1 (土)
A23	国立京都国際会館	戦後モダニズムの金字塔、元大谷研究室設計担当者と徹底探検	11/1 (土)
C57	半井衛麿	石造り洋館&京町家、設計士三好さんと特別見学&京麩食べ比べ ★朝ツアー	11/1 (土) 他
B34	五龍閣	武田五一が手がけた洋館建築、旧松風邸を建築史家が特別案内	11/1 (土) 他
B22	茂庵	数寄者・谷川茂庵が造営した山頂の茶室群、谷川さん&建築史家が特別案内	11/3 (月祝)
C58	大江能楽堂	京都最古の能舞台・観世流大江家の本拠地を特別案内、装束拝見から実演まで	11/3 (月祝) 他
C59	京都芸術センター	スパニッシュにアールデコ、建築史家が元明倫小学校を特別案内	11/6 (木)
A8	京都市役所本庁舎	武田五一の名庁舎、リノベーション元担当者と正庁の間から議場まで特別見学	11/8 (土)
B25	京都市京セラ美術館	青木淳・西澤徹夫が手がけた美術館建築の名作、前田先生が特別案内	11/9 (日)
B25	京都市京セラ美術館	京都産業大学文化学部生による美術館建築の名作案内ツアー	11/9 (日)

▶複数建築をつなぐまち歩き型

C60	三条通	建築家・笹さんといく、モダン建築が立ち並ぶ京都のメインストリート	11/1 (土) 他
—	七条通	倉方先生と七条モダン建築めぐり、増田清の彌道会館を特別見学	11/3 (月祝)
B15・C61	堀田団地&堀田新文化ビルディング	研究者と日本初のRC店舗併用住宅へ、リノベ団地を特別見学	11/3 (月祝)
C62	梅田スカイビル・京都駅ビル	イケフェス大阪×京都モダン建築祭、原広司の祝祭都市を倉方先生と特別ツアー	11/3 (月祝)
A11・C49	島津製作所 創業記念資料館・フォーチュンガーデン 京都	京都を代表する企業、創業者の住まい兼店舗&旧本社を特別見学	11/6 (木)
—	ローバー都市建築事務所	設計士とリノベーション町家4件を特別見学、町家再生のお仕事拝見	11/8 (土)
—	岡崎	建築探偵とモダン京都の祝祭空間へ、時代を代表する名建築めぐり	11/8 (土)

▶建築祭ならではの宿泊プラン

C37	丸福樓	アールデコの傑作建築「任天堂旧本社」、旧住居棟から事務所棟まで特別案内	11/7 (金)
C54	長楽館	贅を極めた迎賓館へ「長楽館」プライベートツアー&名建築で朝食を	11/7 (金)

各種イベント・連携企画

広げる・深める・つなげる、建築との出会い方はいろいろ。



詳細はこちら

パスポート公開建築をもっと楽しむ

A8 中京

京都市役所本庁舎



ウッドエキシビション企画による
和室特別公開
[11月1日]

A16 京都駅・七条

旧村井銀行 七条支店

B25 岡崎

京都市京セラ美術館



「モダン建築クロニクル」
特別展示
旧村井銀行 [11月1-2日] 京都市
京セラ美術館 [11月8-9日]

B15 御所西

堀川団地



京都美術工芸大学 ほりかわ研究
室による「建築学生と考える〈堀
川団地〉の未来展示」
[11月8-9日]

B7 衣笠・北野

立命館大学



講座「京都小学校校舎の明治・大
正・昭和一災害からのコンクリ
ート校舎誕生物語」
[11月8日]

B7 衣笠・北野

立命館大学



泰山タイルスタンプラリー
[11月8-9日]

B13 御所西

聖アグネス教会

B14 御所西

平安女学院大学 明治館



平安女学院大学の学生によるバ
イオルガン演奏、解説
聖アグネス教会 [11月8日]
平安女学院大学 明治館 [11月9日]

京都モダン建築祭 デジタルスタンプラリー

パスポート公開建築をめぐって
建築アイコンのスタンプをあつめよう！



同時期開催の注目イベント

B9 西陣

Be 京都



作品展「扉の先の、その先
に Vol.2」
[11月8-12日]

D1 御所西

文化庁・府庁界限



まちかどミュージアム
[10月25日-11月24日]

D3 北大路

むらさきスタイル
プロジェクト推進協議会



むらさきスタイルセミナー
ツアー
[11月1-9日]

C38 北大路

大谷大学



尋源館(講堂・会議室)
公開 [11月8-9日]

本でめぐる、建築の世界

D4 中京

京都 蔦屋書店



京都モダン建築祭
選書フェア
[10月11日-11月9日]

D5 中京

丸善 京都本店



建築書フェア
[10月初旬-11月9日]

B27 岡崎

京都府立図書館



京都モダン建築祭
選書フェアコーナー
[10月24日-11月26日]

B25 岡崎

京都市京セラ美術館
ミュージアムショップ

「ART RECTANGLE
KYOTO」



京都モダン建築祭
選書フェア
[10月16日-11月9日]

建築を五感で楽しむ多彩な展示

D6 北山・松ヶ崎

京都学・歴彩館



パネル展
「あめりか屋の100年史」
[10月27日-11月9日]

D6 北山・松ヶ崎

京都学・歴彩館



パネル展「文化財マネー
ジャー・古材文化の会・京
都を彩る建物や庭園」
[10月27日-11月9日]

A9 中京

立誠ガーデン
ヒューリック京都



LinkArchiScape
インフォメーション展
[10月18日-11月9日]

A18 京都駅・七条

重信会館



LinkArchiScape
アート展
[10月18日-11月9日]

🎁 お得なパスポート特典 持っているだけで、もっと楽しめる。

うれしい割引・サービス

D7 北山・松ヶ崎 けんちくセンター CoAK	オリジナルグッズ 10%OFF	C44 中京 Ace Hotel Kyoto	飲食代 20% OFF
A8 中京 SUNSET SUNDAY (京都市役所前広場)	アフターパーティー 「CLUB METRO」 入場割引	C51 中京 膳處漢ぽっちり	1ドリンクサービス
A12 中京 TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS	ドリンク 10%OFF	D5 中京 MARUZEN café 京都店	飲食代 100 円 OFF
D9 中京 カフェアンデバンダン	飲食代 10%OFF	C47 河原町・五条 東華菜館	デザート 1 品 サービス
D8 河原町・五条 大傳梅梅	1ドリンクサービス	C45 東山 アカガネリゾート	乾杯ドリンク プレゼント
C46 河原町・五条 鮎鶴京都鴨川リゾート	乾杯用 スパークリングワイン 1 杯プレゼント	B30 東山 あじき路地 (各店舗)	割引・プレゼント

ノベルティがもらえる

その他 宇多野ユースホテル	オリジナル缶バッジ & 選べる特典 プレゼント	B22 吉田・北白川 茂庵	メモ帳進呈
中京、他 前田珈琲 (各店)	オリジナルドリッ バック進呈	D9 中京 同時代ギャラリー (1928ビル)	オリジナルポスト カードプレゼント
D5 中京 丸善 京都本店	建築書フェア& オリジナル茶進呈	C63 河原町・五条 喫茶ソワレ	粗品進呈
C56 河原町・五条 フランソワ喫茶室	ノベルティ進呈	C50 東山 天ぶら八坂圓堂	ノベルティ進呈 ※要予約
C54 東山 長楽館	ポストカード進呈	A16 京都駅・七条 旧村井銀行	古今東西 (KOKONTO ZAI) 展覧会 カタログプレゼント

限定メニューをご提供

中京・ B12 御所西 前田珈琲 室町本店 salon de 1904	オリジナルドリッ バックセット 建築祭セレクション	C46 河原町・五条 鮎鶴京都鴨川リゾート	期間限定メニュー ※要予約
--	---------------------------------	---------------------------------	------------------

入館料等が最大無料

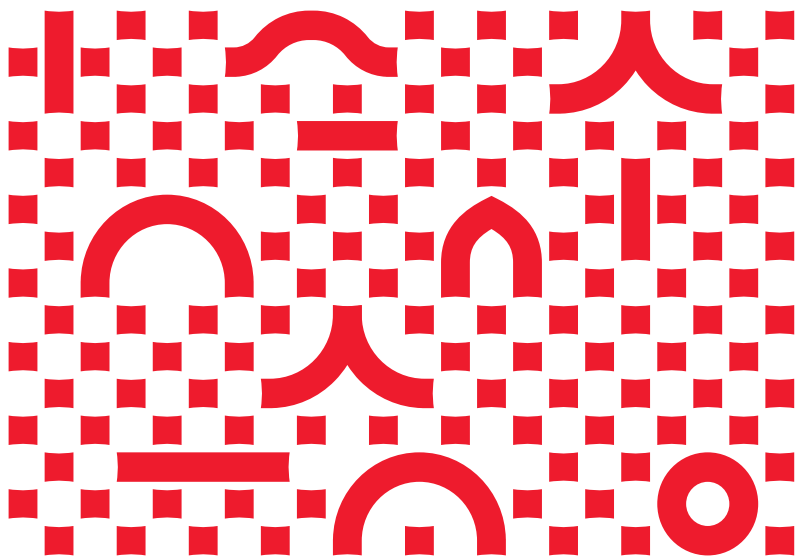
D10 北山・松ヶ崎 京都府立陶板名画の庭	入園料半額	A11 中京 島津製作所 創業記念資料館	入館料割引& 開業当時の写真展
B6 衣笠・北野 京都府立堂本印象美術館	入館料無料	C5 中京 八竹庵 (旧川崎家住宅)	入館料割引
D11 御所東 旧三井家下鴨別邸	入館料割引	D12 中京 西陣織あさぎ織美術館	入園料半額
B15 御所西 堀川団地	現代アート展覧会 七世山ノ瀬亮胤 「記憶の生成」特別内覧	A7 中京 京都学校歴史博物館	入館料割引
C39 岡崎 平安神宮	神苑拝観料割引	C16 東山 大雲院 祇園閣	特別拝観料割引
B28 岡崎 泉屋博物館	入館料割引	D13 京都駅・七条 龍谷ミュージアム	入館料割引

オリジナルグッズ せっかく来たなら、おひとつどうぞ。

ここで買えます



Totebag トートバッグ 	Tenugui てぬぐい 	Clear file クリアファイル 	Masking tape マスキングテープ 
会場限定 建築アイコンチャリティーガチャ 参加建築のアイコンをデザインしたピンバッジ 全5種_1回500円 ※売上の一部は各建築への寄付となります 11/1 国際会館限定バージョンあり 	前田珈琲ドリッパック 京都モダン建築祭 セレクション発売 オリジナルロゴラベルと人気の建築 デザイン、計5種が期間限定で登場 		



2025.11.1

土 SAT

9

日 SUN

バスター
公開期間

前期

11.1

土 SAT

2

日 SUN

北山・松ヶ崎、
中京、
京都駅七条

後期

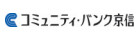
11.8

土 SAT

9

日 SUN

北大路、衣笠・北野、
西陣・御所西、御所東、
吉田・北白川、同楽、東山



【主催】京都モダン建築祭実行委員会

【共催】京都市

【後援】

公益社団法人 日本建築家協会

一般社団法人 日本建築学会

公益社団法人 日本建築士会連合会

一般社団法人 公共建築協会 近畿地区事務局

【事務局】

まいまい京都

問合せ info@kenchikusai.jp

【協力】

京都市交通局

京都市上下水道局

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

公益財団法人京都市スポーツ協会

京都阿岐魅力づくり推進協議会

京の三条まちづくり協議会

路上観察学会

株式会社あめりか屋

株式会社魚谷繁礼建築研究所

株式会社熊倉工務店



本事業は令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の補助を受けて実施しています。

京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業



京都モダン建築祭
公式サイト



参加者アンケートに
ご協力ください

✕ @kenchikusai https://kyoto.kenchikusai.jp/